

◆◆◆閉講式◆◆◆

- 南風小学校で「先生」として歩み始められた三名の先生方。  
「先生」としての一年間の勉強の区切り、初任者研修閉講式が先週行われました。全体の式は教育事務所がある吉塚合同庁舎と各学校をオンラインでむすんで実施。そのあと、校長室で改めて行いました。



- 校内の式では、はじめに三人の先生方に「修了証」を授与。  
そのあと、次の言葉を紹介して改めて「教育」ということについて考えていただきました。

教育というこの地道な仕事は 労多くしてしかも給料は高くはない  
しかし どんなりっぱな社会も民族の歴史も それを作りだすのは人であり  
その人を作るのは教育なのだ 民族の未来はかかって教育にあり  
教育の成果は またかかって教師その人にある  
哲生よ お前は厳しい道を選んだ  
教育の世界では 東大卒がその故をもって優遇優先されるものは何もない  
教育はもちろん学問である しかし学問だけではない  
教育は●●であり 教育は●●であり 教育は●●であり 教育は●●なのだ  
学問を愛したお前は これからもきっと学としての教育を大事にするだろう  
と同じくらいに いやそれ以上に  
これからのお前は人間を 子どもを 実践を 大事に大事にしていかなければならないのだ

- この言葉は教育者の谷口廣安さんがこれから教師になるという息子さんに宛てた手紙の一部です。  
●●の中にどんな言葉が入るのか。あなたならば今、どんな言葉を紡ぎ出すのか。そんな問いかけをしながら、今改めて、教育というこの職について考えていただきました。三人の先生方のますますの活躍を楽しみにしています。